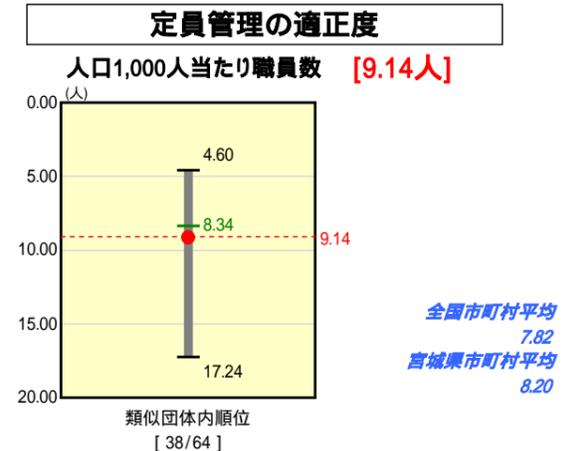
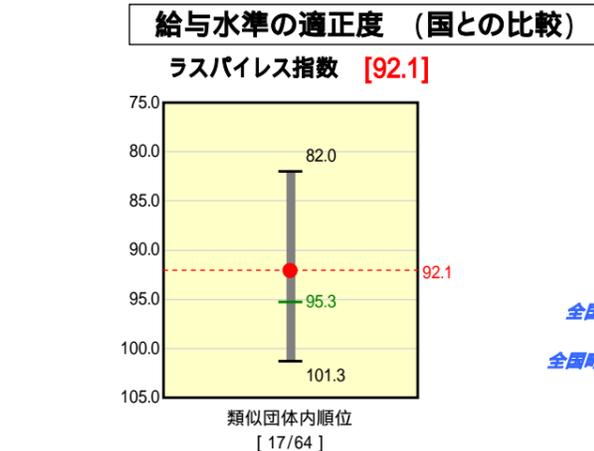
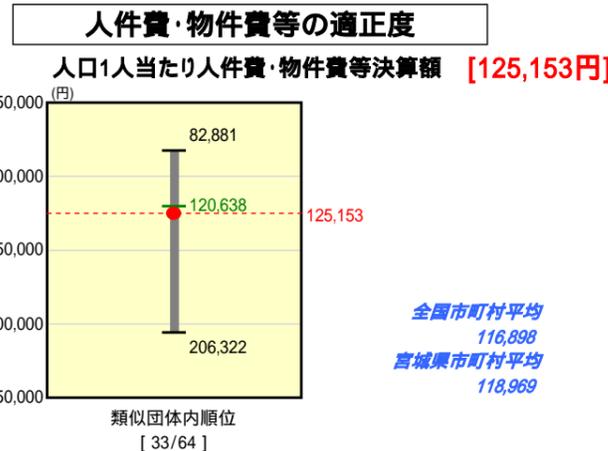
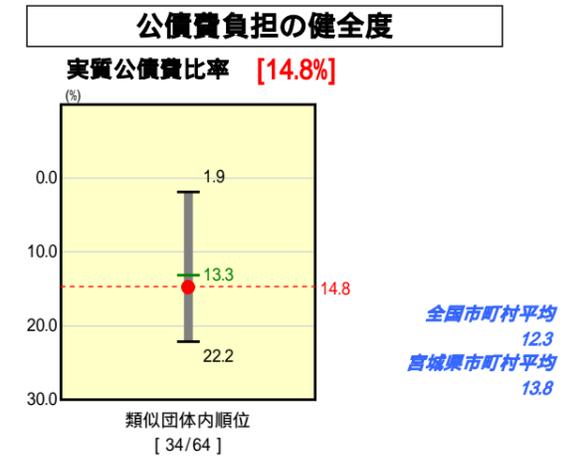
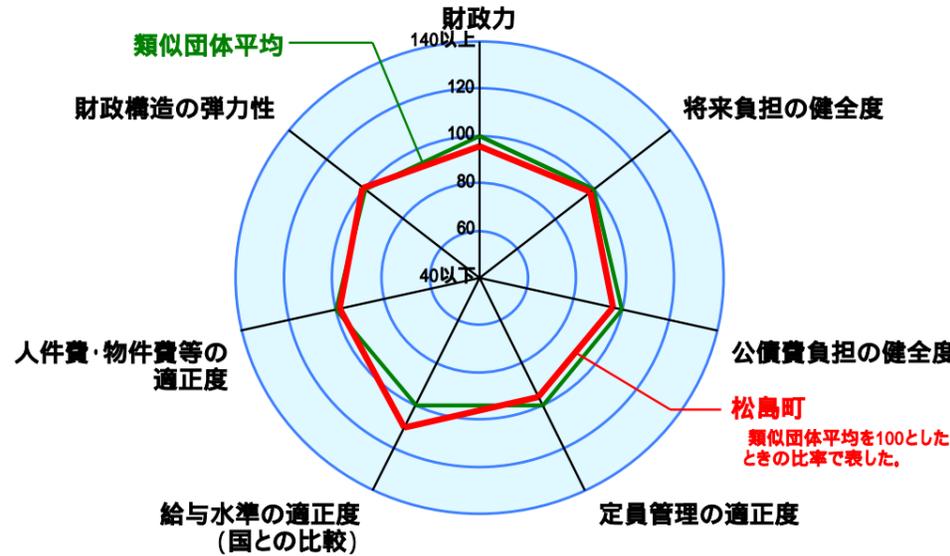
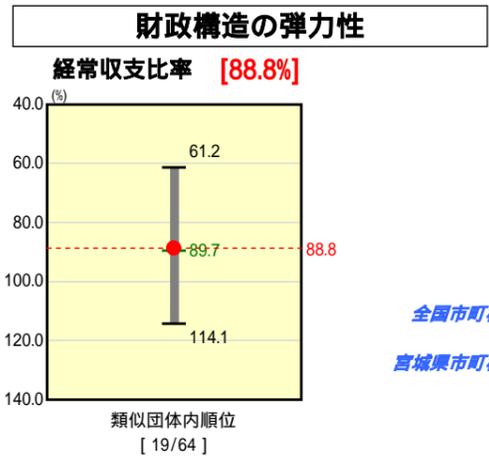
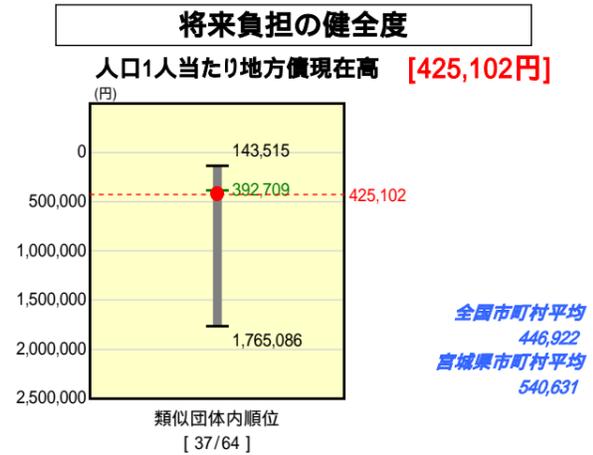
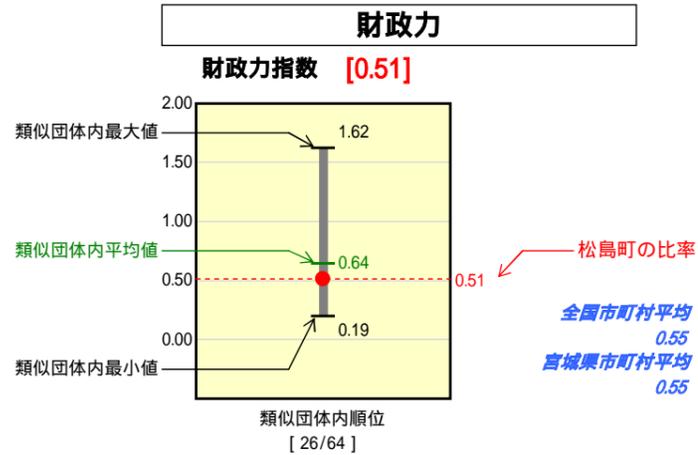


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 宮城県 松島町

人口	15,863	人(H20.3.31現在)
面積	54.04	km <sup>2</sup>
歳入総額	5,674,593	千円
歳出総額	5,546,216	千円
実質収支	122,575	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力** [財政力指数]  
類似平均は下回っているが、平成17年度より連続した伸びを見せており、平成19年度は前年度比0.02ポイント増の0.51となった。平成19年度からの本格的な税源移譲に伴う自主財源の増加が伸びの要因となっている。

**財政構造の弾力性** [経常収支比率]  
類似平均を下回っているものの、児童手当の拡大や更正医療の権限移譲に伴う扶助費の増加など、人件費や公債費に比べ扶助費は増加の一途をたどっている。しかし、集中改革プランに基づく職員の定員管理や公的資金補償金免除繰上償還の制度を活用した公債費の抑制などを実施し、今後も引き続き財政の健全化を図っていく必要がある。

**人件費・物件費等の適正度** [人口1人当たり人件費・物件費等決算額]  
類似平均を上回っており、人件費(20,800千円)は減少しているが、物件費は電算システムの更新時期にあたり増えて(24,586千円)いる状況である。また人口減少(16,168人、15,863人)も平均を上回った要因の一つである。

**将来負担の健全度** [人口1人当たり地方債現在高]  
類似平均を上回っているが、H18年度普通会計決算の人口1人当たり地方債現在高と比べ減少(429,084円、425,102円)となった。これは地方債の借入額(467,200千円)が地方債償還額(元金:661,245千円)を下回り、地方債残高が減少してきているのが要因となっている。

**公債費負担の健全度** [実質公債費比率]  
類似平均を上回っており、平成19年度に承認された公的資金補償金免除繰上償還の制度活用や新規の地方債発行については財政状況を十分に考慮し、事業の「選択と集中」への取り組みを進めていきたい。また、準公債費といった繰上金等についても普通建設事業費等の抑制に努め、全会計において公債費を縮減し、後年度への負担を軽減していくことが課題となっている。

**定員管理の適正度** [人口1,000人当たり職員数]  
平成17年度から定員適正化計画に基づき、職員数の削減を行っており、5年間で178人から151人と27人の減を目標としている。今後も、業務の効率化や指定管理者制度の移行等を検討しながら、職員数の削減に努める。

**給与水準の適正度** [ラスパイルズ指数]  
類似平均より1.1ポイント下回っており、今後も職務、職責に応じた適正な給与制度の運営を図る。